

資料紹介 —————

## 「江戸川乱歩ミステリブック」と 探偵小説雑誌「黄金虫」

### 解題

江戸川乱歩の回想によれば、昭和二十年末頃から「探偵小説の出版大流行の兆あり」というように、戦後にふたたび探偵小説のブームが起こり始めていた。

昭和十三・十四年頃には探偵小説への抑圧が強くなり、乱歩は「隠栖を決意す」といった状況にまでなっていた。

戦時中の乱歩は町会活動など作家以外の仕事をするとともに、多くの海外探偵小説を読んだりして過ごすことになったが、作品を発表することはできなくなっていた。昭和二十年に戦争が終結すると、戦前の探偵小説がまた刊行されるようになったのではなく、一方で時代小説は仇討などのテーマによって検閲のおそれがあったため、大衆文学は探偵小説に集中することになった。結果的に、昭和二十一・二年は、非常に多くの探偵小説が刊行される年となるのだった。

日本経国社から独立した前田豊秀は、前田出版社を設立し、昭和二十年

十二月、乱歩を主幹とした探偵雑誌の刊行を企画する。この経緯は乱歩の回想録『探偵小説四十年』、昭和二十一年「探偵雑誌「黄金虫」計画」の節に詳細に記されている。乱歩は、戦後に探偵小説愛好家として訪ねてきた渡辺健治や、古くからの友人であった本位田準一らと雑誌の構想を練ることになった。

昭和二十年十二月から二十一年一月には、何度か打合せがおこなわれたようであるが、一月二十三日には企画は中止となってしまう。「出版社の実力不安のため、一ヶ月分の稿料その他を保証金として預かりおくこと、利益の三分一を主幹に納むべきこと等の条件を出せしめたため不調に終れり。」と乱歩は記しており、主に資金面での折り合いがつかなかったようである。「クイン雑誌にならいて「江戸川乱歩・ミステリー・ブック」と題し、内外の名作再録雑誌にするつもりなりしが。」と、乱歩はその無念さを書いている。乱歩にとって雑誌の編集は、少年期

からの念願でもあったはずだが、その希望はここでもまたかなうことはなかった。乱歩が雑誌「宝石」の編集にのりだすのは、さらに十年を経た、昭和三十三年のことである。

今回紹介する資料は、乱歩邸に残されていた資料から、このときの雑誌企画にかかわるものである。「江戸川乱歩ミステリブック資料」というラベルの貼られた書類ケースには、候補作品のカードと、候補作品のリスト、そして一号〜三号に掲載する作品の案が残されていた。またそれとは別に、前田との打ち合わせのための資料の控えも保存されている。この資料控えには契約書の下書きや、その他出版にかかわる費用の計算が細かく書かれているものも入っているが、そこには「黄金虫」第一号編集案が含まれていた。

ここではこの「黄金虫」第一号編集案と、おそらくその前段階で作成されたと思われる、ミステリブック第二号〜第三号の編輯案、さらに、それらを作成するための作品リストを紹介したい。資料には作品名を記したカードがあるので、おそらくこれから先に作成したと考えられる。そこから「探偵小説」「怪奇」「怪談」の三つのカテゴリについて、海外と国内の作品から選び出し

ている。それぞれが原稿用紙で何枚程度になるのかまで書かれている。これらの作品からバランスを見つつ、一号〜三号の目次案を作成していったようだ。「黄金虫」編輯案の段階では、過去の作品に加えて、木々高太郎による本格書下ろし短篇、徳川夢聲のユーモア短篇を掲載しようとしていたことがわかる。さらに、乱歩自らの書下ろし本格長篇が予定されているのだった。単に過去の作品を選んで雑誌編集の願望をかなえようとしただけではなく、長篇本格探偵小説を書くことで、戦後の探偵小説界を導こうという乱歩の意気込みをここに見ることができただろう。

残念ながら、乱歩の雑誌「黄金虫」は、実際には刊行されなかった。しかし、ここに挙げられた作品の多くが、『随筆探偵小説』『幻影城』などにまとめられる。乱歩の昭和二十年代の評論で取り上げられるなど、以降の乱歩の活動へとつながっている。そしてさらに、昭和三十年代の、こんどは実際に乱歩が編集することになる雑誌「宝石」の雑誌構想の礎になっていると見ることができらるだろう。

落合教幸（立教大学江戸川乱歩記念  
大衆文化研究センター学術調査員）

## 江戸川乱歩ミステリ・ブック

### 第一号

ビッグ・ボウ事件（連載）探「本格」

ザンクウィル 妹尾アキ夫新訳

白い家 怪「談」モーロア 江戸川 新訳

呪はれた戯曲

賭 奇「怪奇」チェホフ 中村白葉

猫町 怪「談」萩原朔太郎

土耳其風呂 探「本格」ジユブソン

ユースチス 岡村訳

タルホと虚空 奇 稲垣足穂

可哀相な姉 奇 渡辺温

猿の足 怪 ジェコブズ 鷺尾訳

カラクリ師 怪 ジェローム 妹尾 新訳

人形師の秘密

世界探小史（連載）評 江戸川（新稿）

各篇解説（二枚平均）

絵 七枚

目次と後記

本文百頁、8ポ二段組、三十字二四行。

一頁三・六枚

### 2号

1 ザンクウィル

4 ノックス ギムナジウム殺人事件

（黒沼）

5 佐藤 オカアサン

6 グローラー Strange Tracks

2 バーク Ottermole (1931)

9 スチブソン Markheim

ソログループ 毒の園（暗夢）

7 フッド A Tale of Terror

3 サキ Sredni Vashar (S2)

8 泉三郎 谷底

3 朔太郎 死なない蝸

8 ホワイト Lukundoo

ベリスフォード The Misanthrope

世界史

解説

画七

目次

後記

### 3号

1 ザンクウィル

3 トムソン The Vanishing of Mrs. Fraser

4 谷崎 途上

2 渡辺 兵隊の死

6 ホワイト Lukundoo

5 サキ The open window

7 泉三郎 谷底

8 地味井 煙突奇談

9 スチブソン Was It Murder

10 石浜 都会の幽霊

ボウ 群衆の人

世界  
解説  
画七  
目次 後記

怪奇

ポウ 天蛾(谷崎 アッシア)

ポウ 天邪鬼

ポウ 群衆の人(々)

チェホフ 賭(小型全集) 中村白葉

スチヴンソン Was It Murder? (江

戸川) [S1]

ルヴェル ある精神異常者(田中)

ピアス Maxon's Master [S1]

1893 シェローム Dancing Partner

メーソン The Clock [Q]

バーク The Hands of Otermole

スチブソン Markheim

ソログープ 毒の園(昇曙夢)

フッド A Tale of Terror

怪談

モーパッサン オルラ (T)

ストーカー The Squaw (S1)

ヒチェンズ How Love come (S1)

ベリズフォード The Misanthrope (S1)

ポウ 影

モーロア 白い家(江戸川)

サキ The Open Window (S1)

クローフォード 上床(岡本)

ジェロプズ 猿の手足(鷺尾)新青6夏

ホワイイト Lukundoo

ベニンン Negotium Perambulans

年不明

ブラックウッド 古き魔術 年不明

怪談

萩原朔太郎 猫町

幸田露伴 対髑髏

綺堂

鏡花

城昌幸

探小

佐藤春夫 オカアサン

大阪圭吉 とむらい機関車

谷崎 途上

探小

ザングイル The Big Bow Mystery 毎回

ジュブソン ユースチース 土耳其風

呂で 新青7春

グローラー Strange Tracks

ドイル 消えた特急(横溝)改全8

ノックス ギムナジウム殺人事件

(黒沼)探春11・10

ポースト Doondorf

アリンガム The Border Line Case [Q]

ホワイイトチャーチ Sir Gilbert Murrell's

Picture [S1]

フットレル 完全脱獄(植村)新青

14・夏

トムソン The Vanishing of Mrs Fraser

[S2]

ポースト ジョウパネーの探検日記

(西田)ぶろ10・9

ポースト An Act of God. (Abner)

ポースト Naboth's Vineyard (Abner)

クリステイー Philomel Cottage [Q]

ホーソン Mr. Higginbotham's

Catastrophe [Th]

チェスタトン 見えぬ人(十字) (■

大森訳)

チェスタトン 巨人の鉄槌(十字)

チェスタトン 奇妙な足音(十字)

ノックス The Motive [Best] 年不明

バークレイ 偶然は裁く(延原)

渡辺温 可哀相な姉(選集)

鈴木泉三郎 谷底

久生十蘭 黒い手帳(新12・1)

谷崎 呪はれた戯曲

村山槐多 悪魔の舌

石浜金作 都会の幽霊(選集)

芥川 地獄変

長谷川如是閑 ヘロデのユートピア

(中タケ取ル) ヘロデのユトウピア

地味井平造 煙突奇談

稲垣足穂 タルホと虚空(天体)

渡辺温 兵隊の死

萩原朔太郎 死なないタコ

「黄金虫」第一号編輯案

一頁コント「兵隊の死」渡辺温 下段  
二目次

本格書卸 短篇』 『木々高太郎

外国古典 『賭け』ルヴェル

同 『ある精神異常者』ルヴェル

一頁 外国漫画

ユウモア短篇』 『徳川夢聲

二頁見開キ 現代風俗志的漫文漫画

又ハ探偵作家ハガキ回答

旧訳本格 『二つの部屋』ハースト

日本旧作 『瓶詰の地獄』夢野久作

外国古典 『恐ろしき舞踏』ジェローム

二頁見開キ 内外探小界映画界通信

書卸シ本格長篇『 江戸川乱歩

編輯後記「鬼の言葉」江戸川 下段奥附

外ニ埋草トシテ將基、笑話、探偵当テ

モノ ソノ他

探小投稿募集文

挿絵カット

外国漫画

取入広告 : 外に表紙2・3・4ヲ広

告ニ當ツ

本文(目次奥附)

20字×23行×3段×56頁÷400原稿

紙字数≡原稿紙190枚

6号組頁アルヲ以10枚ヲ増シ原稿紙2

00枚トナル

翻刻協力

米山 大樹・影山 亮

(立教大学大学院博士後期課程)

江戸川乱歩ミステリ・ブック

Handwritten list of titles and prices for '江戸川乱歩ミステリ・ブック' with various annotations and a total of 360.

Printed list of titles and prices for '江戸川乱歩ミステリ・ブック' with handwritten corrections and a total of 360.

Printed list of titles and prices for '江戸川乱歩ミステリ・ブック' with handwritten corrections and a total of 360.

Printed list of titles and prices for '江戸川乱歩ミステリ・ブック' with handwritten corrections and a total of 360.

Printed list of titles and prices for '江戸川乱歩ミステリ・ブック' with handwritten corrections and a total of 360.

Printed list of titles and prices for '江戸川乱歩ミステリ・ブック' with handwritten corrections and a total of 360.

Printed list of titles and prices for '江戸川乱歩ミステリ・ブック' with handwritten corrections and a total of 360.

Printed list of titles and prices for '江戸川乱歩ミステリ・ブック' with handwritten corrections and a total of 360.

Printed list of titles and prices for '江戸川乱歩ミステリ・ブック' with handwritten corrections and a total of 360.

「黄金虫」第一号編輯案

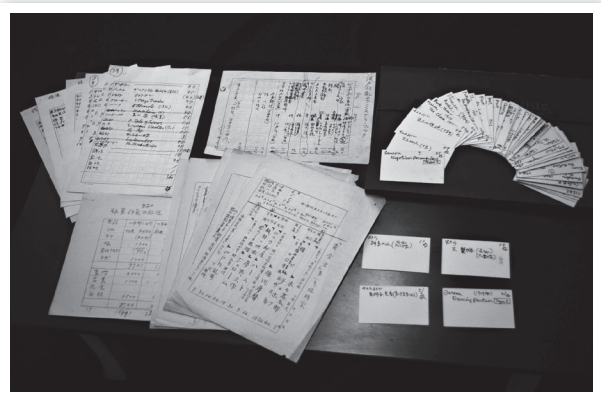
「黄金虫」第一号編輯案

徳川夢聲	木々高太郎	ルヴェル	戸川乱歩	野村胡堂	三浦綾子	二つの子	瓶詰の地獄	怒り	怪談	江戸川乱歩	下野	30	10	20	30	7	20	13	20	40
------	-------	------	------	------	------	------	-------	----	----	-------	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----

編集者：下野 千井用実

印刷所：下野 千井用実

発行所：下野 千井用実



編集後記

▽「センター通信」第八号です。

▽乱歩邸東側のセツトバック工事がおわり、南側も塀から生垣にかわりました。乱歩邸の、隠された感じが減ってしまったのは少し残念な気もしないでもありませんが、明るくなって入りやすくなったようです。まだ主屋の内部にまで入っていただくことはできないのですが、玄関などを利用した展示スペースも増えましたので、少し工夫した展示ができるようになってきました。何年前前に来た方も、再訪していただく価値があるのではないかと思います。

▽二〇一三年七月二十七日、センター主催で紀田順一郎氏の講演会「日本人の蔵書志向と江戸川乱歩」をおこないました。とても暑い日でしたが、多くの方に来ていただきました。講演の内容は「大衆文化」第十号に掲載されています。

▽秋には井上良夫氏のご遺族から、乱歩書簡二十数通を寄贈していただきました。井上良夫は乱歩に大きな影響を与えた評論家・翻訳家です。この資料についても「大衆文化」で紹介しています。

▽小樽文学館での「中井英夫展」に協力し、書簡その他を貸し出しました。この展示会について、中井英夫の助手をつとめていた本多正一氏に書いていただきました。

▽二〇一三年度も乱歩邸の取材は数多くありました。「文豪の家」(エクスマレッジ)では、多くの作家の家とともに乱歩邸も紹介されています。文京区のケーブルテレビ番組「ぶんきょう人物伝」江戸川乱歩の回にも登場しました。

▽二〇一四年は乱歩生誕百二十年、二〇一五年は乱歩没後五十年になります。いくつもの企画が予定されているようですし、センターでもできるだけ協力していきたいと考えています。

(落合)

立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター  
センター通信 第八号

二〇一四年三月二十五日 発行  
編集・発行 立教大学江戸川乱歩記念  
大衆文化研究センター

〒一七一八五〇一  
東京都豊島区西池袋三一三四―一

電話番号 〇三―三九八五―四六四一  
(FAX兼)

E-mail: rampo@rikyo.ac.jp

開室日 月・水・金曜(公開は水金)  
(十時三十分―十六時)

資料閲覧には事前予約が必要です。